

平成 22 年 6 月 8 日

関 係 各 位

全 国 海 運 組 合 連 合 会

平成 22 年度 第 2 回 新 6 級 海 技 士 (航海) 養成課程のご案内について

今般、総連合会より海技大学校による平成 22 年度の標記養成課程開催について、別紙の通り通知が参りました。

本養成課程は、3 ヶ月半の講習と船社による 6 ヶ月の乗船履歴により、新 6 級海技士(航海)の資格〔200 G/T 未満の沿海船の船長、500 G/T 未満の航海士が可能〕が取得可能なものであり、講習終了後の社船による乗船履歴取得中での航海当直(丙種甲板部航海当直部員資格)も可能となる等、船員確保の面からも期待されている処であります。

関係各位におかれましては、本制度をご活用頂き、船員対策の一助とされますよう、奮ってご受講下さるようお願い申し上げます。

尚、お申し込み等 詳細につきましては、ご加入の各地区海運組合(支部)にお尋ね下さるようお願い致します。

以 上



内航大型船輸送海運組合
全国海運組合連合会
全国内航タンカー海運組合
全国内航輸送海運組合
全日本内航船主海運組合

事務局御中

事務連絡
平成22年6月7日

日本内航海運組合総連合会
船員対策委員会 事務局

平成22年度 第2回 新6級海技士(航海)養成課程 募集要項案内

海技大学校における平成22年度第2回海技士教育科海技専攻課程海技士コース
(6級航海専修)「新6級海技士(航海)養成課程」の募集要項が下記の通り決まりましたのでお知らせいたします。

1. 修学期間 平成22年8月19日(木)～12月10日(金)

座学	8月19日(木)～9月29日(水)	芦屋校
乗船実習	10月1日(金)～11月30日(火)	航海訓練所
座学・免許講習等	12月2日(木)～12月9日(木)	芦屋校

2. 出願期間 平成22年7月22日(木)～7月28日(水)

3. 募集人員 20名(応募年齢は、原則50才未満とする。)

前回同様、事前に日本内航海運組合総連合会内での取り纏めを行い、実施機関に連絡致しますので、宜しくご協力願います。

応募書類の写し一式を添えて、各組合にて取り纏めの上、内航総連「船員対策委員会事務局」まで、下記要領にてご連絡願います。

応募自体は各事業者が海技大学校へ出願期間に合わせて応募書類一式(正)を添えて直接入学申請を行って下さい。

①内航総連 事前取り纏め受付期間：7月1日～7月21日(正午)

- ②連絡事項: 出願者(受講者)氏名 生年月日 住所 最終学歴 学校名 所在地
卒業年次 雇用者(内定も含む) 企業名 所在地 担当者/連絡先等
- ③提出書類: 入学願書、乗船履歴(乗船履歴のある場合)、卒業証明書、
雇用(内定)証明書等の応募書類の写し一式

※「健康状態表」については、海技大学校入学前に、このフォームで健康診断を受ければ、入学時の予備身体検査と航海訓練所の実習における入所手続きが1回の検診で済みます。

受診機関は船員法施行規則第57条に定める医師。(国土交通省の下記HP参照)

国土交通省ホームページ

船員の健康証明制度のご案内

<http://www.mlit.go.jp/kaiji/kenkou/index.html>

指定医師の一覧表

http://www.mlit.go.jp/kaiji/medical/medical_.html

※ 募集要項の中で「・・・六級海技士(航海)試験の受験資格が得られます。」とは、身体検査を含む受験のことで、学科試験、口述試験は免除されます。

※ 学費の内、その他諸経費(69,000円)につきましては、相当額を内航総連より教育機関に助成金として寄付致しますので、内航総連傘下事業者に雇用或いは内定されている者に関しては徴収を免除されます。

添付：海技士コース(六級航海)学生募集要項

海技大学校 入学願書 健康状態表 乗船履歴(乗船履歴を有する者のみ)

